





## 増上寺で仏教について対談 芝大神宮の正式参拝も

### 首都圏総支部 学習会



戸松住職と本山会長による講話

首都圏総支部（本山一博会長）は9月18日、他宗教への理解を深め、「祈り」について学ぶことを目的に、東京都港区の浄土宗大本山増上寺と芝大神宮を訪れ、学習会を開催した。午前10時に増上寺の三解脱門に首都圏総支部と各都県協議会の役員者、一般会員ら約40人が集合。その後、増上寺会館まで移動し、浄土宗心光院の戸松義晴住職と本山一博会長による対談形式の講話が行われた。

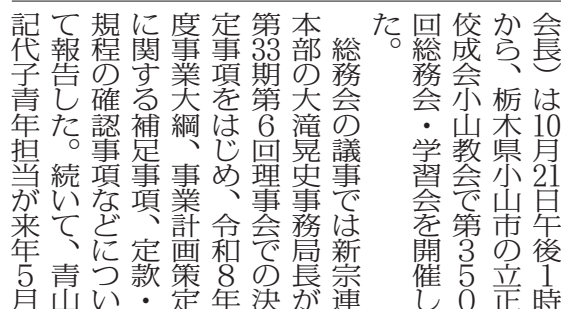
## 学習会を併せて開催 首都圏総支部 総会

首都圏総支部は10月17日に東京都協議会（鈴木光彌）の受け入れにより、港区のアンナ会館で令和7年度総会を開催した。正午からオンライン併用により総務会を開催、第33期第6回理事会の決定事項報告等に関する協議と、新日本宗教青年会関東連盟（青関連）の活動報告を行った。続いて首都圏総支部の令和8年度事業計画について、職員の見解を述べた。

首都圏総支部は10月17日に東京都協議会（鈴木光彌）の受け入れにより、港区のアンナ会館で令和7年度総会を開催した。正午からオンライン併用により総務会を開催、第33期第6回理事会の決定事項報告等に関する協議と、新日本宗教青年会関東連盟（青関連）の活動報告を行った。続いて首都圏総支部の令和8年度事業計画について、職員の見解を述べた。

## 田中正造翁を学び慰霊

### 北関東総支部 総務会 学習会



廣瀬氏が田中正造翁の信念を紹介した

北関東総支部（新井光興会長）は10月21日午後1時から、栃木県小山市の立正佼成会小山教会で第350回総務会・学習会を開催した。総務会の議事では新宗連本部の大滝晃史事務局長が第33期第6回理事会での決定事項をはじめ、令和8年度事業大綱、事業計画策定に関する補足事項、定款・規程の確認事項などについて報告した。続いて、青山記代子青年担当が来年5月

## 交流深め共に学ぶ 青九連ユースフォーラム



研修の冒頭にアイスブレイクを行い、なごやかな雰囲気となった（30日）

新日本宗教青年会九州連盟（青九連）は8月30日午後1時から31日正午まで、福岡県大川市の「大川市ふれあいの家」ほかを会場に「青九連ユースフォーラム2025 in 筑後」を開催した。青九連は毎年、包括地域の各県・地区委員会が受け入れを行い、ユースフォーラムを催している。今年は筑後地区委員会

## 地元の戦跡等で慰霊

### 青 近 連



新日本宗教青年会近畿連盟（青近連）で、戦争犠牲者慰霊並びに「戦争と平和」をテーマとした研修が行われた。写真は、大津市にある「大津市戦争犠牲者慰霊碑」の前で、参加者が黙祷を捧げている様子。

新日本宗教青年会近畿連盟（青近連）は、戦争犠牲者慰霊並びに「戦争と平和」をテーマとした研修を行った。式典の中で、中島修平青近連委員長があいさつ。「戦争で犠牲になられた方が一人でも成仏できるように真心を込めて慰霊させていただいた」と述べた。式典を終えた一行は、大蔵省教団施設法明館を訪れ、ご本尊を参拝。教団施設内を見学した。

戦災都市空襲死没者慰霊塔へ移動し、「戦争犠牲者慰霊並びに世界平和祈念式典」を執り行った。式典の中で、中島修平青近連委員長があいさつ。「戦争で犠牲になられた方が一人でも成仏できるように真心を込めて慰霊させていただいた」と述べた。式典を終えた一行は、大蔵省教団施設法明館を訪れ、ご本尊を参拝。教団施設内を見学した。

戦災都市空襲死没者慰霊塔へ移動し、「戦争犠牲者慰霊並びに世界平和祈念式典」を執り行った。式典の中で、中島修平青近連委員長があいさつ。「戦争で犠牲になられた方が一人でも成仏できるように真心を込めて慰霊させていただいた」と述べた。式典を終えた一行は、大蔵省教団施設法明館を訪れ、ご本尊を参拝。教団施設内を見学した。

## 認知度、期待度ともに低下 庭野平和財団

### 庭野平和財団

期待する宗教者・宗教団体の行う社会貢献活動（複数回答）（％）	2025年	2016年	2012年	2008年
教育に関する活動（学校法人の経営など）	14.4	16.9	17.3	18.0
福祉に関する活動（保育所・児童養護施設の運営や社会的弱者への援助など）※1	22.3	27.8	29.5	28.1
医療に関する活動（グリーンケア、終末期医療、カウンセリングなど）※1	13.8			
平和の増進に関する活動	25.1	36.8	33.8	34.4
海外の開発、教育、医療などの援助活動	7.8	11.2	14.5	18.0
環境問題への提言や取組み	11.8	19.3	18.5	20.2
伝統文化の保存・維持	7.2	13.2	14.9	18.0
災害時のボランティア活動 ※2	25.4	32.1	—	—
政治への積極的な参加や発言	2.8	4.0	4.6	4.3
その他	0.3	0.2	0.3	0.2
期待する活動はない	35.8	28.0	30.5	33.3
わからない	10.8	6.2	9.4	11.3

※1 = 2008・2012・2016年調査では「医療や福祉に関する活動」 ※2 = 2016年調査より新設

庭野平和財団（庭野浩士理事長）は、第4回「宗教団体の社会貢献活動に関する調査」結果を発表した。同調査は2008（平成20）年に第1回目の調査が実施され、12（同24）年、16（同28）年、そして今年6月に第4回が実施された。東日本大震災やコロナ禍を経た調査結果となった。

「期待する宗教者・宗教団体の行う社会貢献活動」（表）では、「災害時のボランティア活動」25・4％、「平和の増進に関する活動」25・1％（同36・8％）、「期待する活動はない」35・8％（同28・0％）と2016年調査に比べ、期待度は低下したことが示された。

「期待する宗教者・宗教団体の行う社会貢献活動」（表）では、「災害時のボランティア活動」25・4％、「平和の増進に関する活動」25・1％（同36・8％）、「期待する活動はない」35・8％（同28・0％）と2016年調査に比べ、期待度は低下したことが示された。

「期待する宗教者・宗教団体の行う社会貢献活動」（表）では、「災害時のボランティア活動」25・4％、「平和の増進に関する活動」25・1％（同36・8％）、「期待する活動はない」35・8％（同28・0％）と2016年調査に比べ、期待度は低下したことが示された。

「期待する宗教者・宗教団体の行う社会貢献活動」（表）では、「災害時のボランティア活動」25・4％、「平和の増進に関する活動」25・1％（同36・8％）、「期待する活動はない」35・8％（同28・0％）と2016年調査に比べ、期待度は低下したことが示された。

「期待する宗教者・宗教団体の行う社会貢献活動」（表）では、「災害時のボランティア活動」25・4％、「平和の増進に関する活動」25・1％（同36・8％）、「期待する活動はない」35・8％（同28・0％）と2016年調査に比べ、期待度は低下したことが示された。

「期待する宗教者・宗教団体の行う社会貢献活動」（表）では、「災害時のボランティア活動」25・4％、「平和の増進に関する活動」25・1％（同36・8％）、「期待する活動はない」35・8％（同28・0％）と2016年調査に比べ、期待度は低下したことが示された。

「期待する宗教者・宗教団体の行う社会貢献活動」（表）では、「災害時のボランティア活動」25・4％、「平和の増進に関する活動」25・1％（同36・8％）、「期待する活動はない」35・8％（同28・0％）と2016年調査に比べ、期待度は低下したことが示された。

「期待する宗教者・宗教団体の行う社会貢献活動」（表）では、「災害時のボランティア活動」25・4％、「平和の増進に関する活動」25・1％（同36・8％）、「期待する活動はない」35・8％（同28・0％）と2016年調査に比べ、期待度は低下したことが示された。



開教75周年・ありがとうインターナショナル  
設立35周年『世界の子どものために祈る日』

## 教えのバトンを次世代に繋ぐ

智恵 妙教

妙智會教団(宮本恵司會)は、開教記念日にあたる10月12日午前10時から、東京・代々木の本部本殿で「妙智會開教75周年・ありがとうインターナショナル設立35周年『世界の子どものために祈る日』」を開催した。



宮本會長が共に精進することを呼びかけた

式典は参列者一同による「世界の子どものために祈る日」として定めるなど教団の歩みを振り返った。そして自身が今年3月に法嗣から會長に就任以降、慈悲行のお導き修行に邁進していることを奉告し、「本日より心新たに、燃え上る道を行ってまいりまう」と祈願した。宮本會長を導師に参列者一同で読経した。「決意表明」を支部長と各部、総代のそれぞれ代表3氏が行った後、宮本泰良代表役員が會員へあいさつを述べた。この後、「ご指導」に立った宮本會長は冒頭、「感謝の心で精進してまいりまう」と力強く呼びかけた。宮本會長は追記に際し、須弥壇から降り、本殿を埋めた會員の席を回り、言葉を交わして握手するなど、親しく會員と触れ合った。また、この日は全国の各教会でも同様に式典を行った。本部では、式典終了後、ありがとうインターナショナル主催の「ありがとうバトン」を開催した。

すばらしい教えを次の世代に繋ぐことが私のお役でございませう」として、日本が得意とする陸上競技のレーシングを例に、次世代へのバトンタッチすることの意義を説明。変化するときの中、教団も課題を抱えつつも変わっていく必要があることを説き、みづから「バトン」の形は変わらないうち、自身もコーチではなく會員と共に「妙智のすばらしい教えのバトンを握って、共に精進してまいりまう」と力強く呼びかけた。

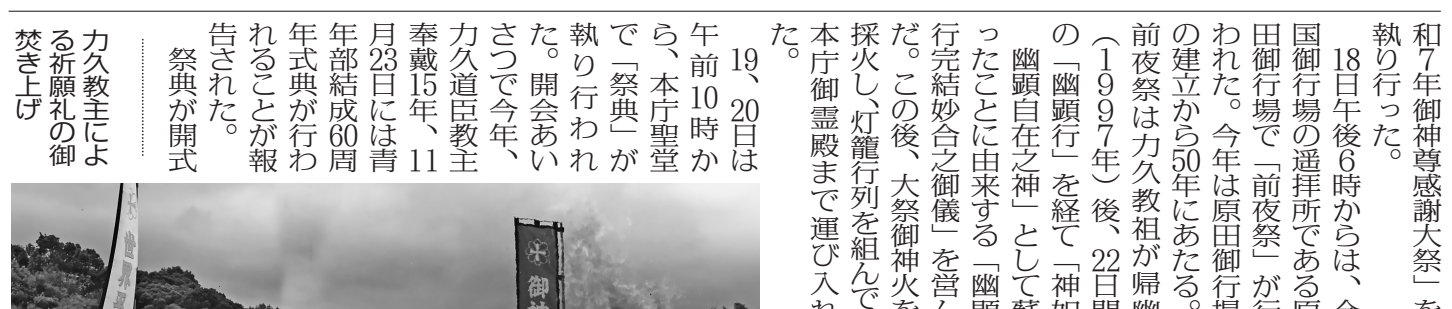
### 一御神尊感謝大祭

## さらなる善隣の園顕現 一人一助の救世済民を

善隣教

善隣教(力久道臣教主)は10月18日から20日までの3日間、福岡県筑紫野市の本庁で力久辰斎教祖(御神尊)の48年祭にあたる「令

和7年御神尊感謝大祭」を執り行った。18日午後6時から、全国御行場の通所である原田御行場で「前夜祭」が行われた。今年も原田御行場の建立から50年にあたる。前夜祭は力久教祖が帰幽(1997年)後、22日間の「幽顯行」を経て「神如幽顯自在之神」として蘇る御神尊を唱える中、御神尊を祀る扉が厳かに開かれた。この後、大祭御神火を巡し、信徒を浄霊。続いて力久教主が参列者に向かい、「御慈光」を照射した。



し、教会御旗の入場の後、大祭御神火が採火、点火された。力久教主と力久美雪継主が臨臨し、力久教主が祭文を奏上。「さらなる善隣の園顕現のため、一人一助の救世済民に旅立たせたまわんことをお願い」と祈念した。参列者が一心に御聖経を唱える中、御神尊を祀る扉が厳かに開かれた。「御神像御開闢」が執り行われた。力久教主と継主が聖堂を巡し、信徒を浄霊。続いて力久教主が参列者に向かい、「御慈光」を照射した。

この後、一同で「御遺言」を奏上、「捨身誓願の松」が奉奠され、礼拝を行った。19日は午前11時20分から、屋外の善隣プラザで世界平和祈願の御焚き上げが行われた。この後、各界平和祈願の御焚き上げが行われた。

### お会式・一乗まつり

## 庭野開祖の精神を胸に 各隊が趣向凝らし行進

立正佼成会

立正佼成会(庭野日鏡會長)は10月19日、東京都杉並区の本部周辺施設で「お会式・一乗まつり」を開催した。行進の模様はインターネットでライブ中継された。この日、各隊は趣向凝らし、力強い行進を行った。各隊は趣向凝らし、力強い行進を行った。

続いて、2人の青年部員が「誓願の言葉」を発表した。筑豊教会の坂口昌史さんは10年前に参加した「お会式・一乗まつり」が原点となり、「九州のお会式を開催したい」との願いを抱き、これまで歩んできた道程を、鎮西身延山本佛寺との出会いを機に、「光祥さまの励ましを受け、九州お会式が実現した」と述べた上で、「二乗行進を通して不安や葛藤を喜びと支え合う力に変え、次世代と共に歩み続けたい」と誓願を新たにした。



葛飾

「進進宣言」を行い、「二乗行進」がスタート。和道二丁目交差点から大聖堂正面玄関前、法輪閣駐車場までを練り歩く「一乗行進」には、国内外の教会26隊、約3620人が参加。万灯やマトイ、鳴り物が威勢よく響き渡り、活気あふれる行進が展開された。港教会は62年ぶりとなる新万灯を建立。立。動く大聖堂をテーマに、ご本尊や菩薩像を中心とした展示が行われた。大聖堂前では庭野會長、光祥次代會長、熊野隆理理事長が観覧席から参加者に温かい声援を送り、感謝と激励の拍手を送った。

## 秋の大祭 各地で挙

誠一筋に真理を研究  
清い心を働かせよう  
円心教



深田教主による「御親教」

円心教(深田充啓教主)は10月5日午後1時から、兵庫県丹波市の本部本殿礼拝所で「秋季大祭」を厳かに挙

行った。祝電披露の後、山川喜久子副理事長が大祭に集う信者への感謝を述べたうえで、立教105周年記念事

### 先の大戦から80年— 共に平和つくる道を

解脱会

## 第187回秋季大祭



「式辞」を述べる岡野法嗣

前日までのぐずついた天気から一転、青空広がる御霊地に各教区の鼓笛隊が順次入場。全国から集った会

次入場。全国から集った会員で埋め尽くされた会場から大きな拍手で迎えられた。午前11時、鼓笛隊の演奏に合わせて、国旗、本部旗、青年部旗、全国支部旗が、会場開式の辞に続き、国歌、大祭の歌を斉唱、拜礼行事を執り行い、解脱金剛尊者(岡野聖憲會)の「式辞」を述べる岡野法嗣



新井會長が「大祭御神火」を奉奠

新井會長が「大祭御神火」を奉奠した。この後、大祭御神火が採火、点火された。新井會長と新井美雪継主が臨臨し、新井會長が祭文を奏上。「さらなる善隣の園顕現のため、一人一助の救世済民に旅立たせたまわんことをお願い」と祈念した。参列者が一心に御聖経を唱える中、御神尊を祀る扉が厳かに開かれた。この後、大祭御神火を巡し、信徒を浄霊。続いて新井教主が参列者に向かい、「御慈光」を照射した。



安食祭司長による神剣加持

安食祭司長は「天照らす光に向かう真の道」を36回奏上し玉串奉奠を齋主が行い、「二拝之儀」で祭儀を終了した。5日午後11時過ぎから、拝殿では齋主の安食克彦祭司長が修験を行い、神職のみで「御開扉之儀」を齋礼に入魂を行った。

業について報告。深田千代子教祖の行衣を新たに桐箱で保存するほか、参拝者に配慮したバリアフリーの施設など、教団施設の整備方針を説明した。

深田教主が「御親教」を行い、「教典74員」を引きながら、「何が正しいのか、善は、真実はどこにあるのか、誠はどこにあるのか、その時、その場によって変

わってきます。何が真理で誠か、人が作った「通力」で「迷わ」ないよう、常に御教祖様に向かい、お尋ねすることです。誠一筋に真理の研究をし、清い心を働かせていきたいと思います」と説いた。

最後に「佳き日の歌—「御教祖とともに」を斉唱し、教団基本方針を奉唱。深田教主の退席をもって祭典は終了した。

救世真教新井光興會長は10月19日午前10時から、群馬県高崎市の本部聖地にいった。秋季大祭を執り

「誓い」「信条」「行動指針」を唱和の後、新井光興會長が齋主になり「秋季大祭祝詞」を奏上。齋主と参

大和之宮(安食克彦代表役員代務者)は10月5日深夜から翌日午前にかけて、山形市の本部で「第40回例大祭」を執り行った。



安食祭司長による神剣加持

安食祭司長は「天照らす光に向かう真の道」を36回奏上し玉串奉奠を齋主が行い、「二拝之儀」で祭儀を終了した。5日午後11時過ぎから、拝殿では齋主の安食克彦祭司長が修験を行い、神職のみで「御開扉之儀」を齋礼に入魂を行った。

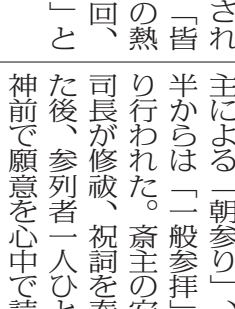
### 自然の営み生かされていくことに感謝

救世真教

救世真教新井光興會長は10月19日午前10時から、群馬県高崎市の本部聖地にいった。秋季大祭を執り

「誓い」「信条」「行動指針」を唱和の後、新井光興會長が齋主になり「秋季大祭祝詞」を奏上。齋主と参

大和之宮(安食克彦代表役員代務者)は10月5日深夜から翌日午前にかけて、山形市の本部で「第40回例大祭」を執り行った。



安食祭司長による神剣加持

安食祭司長は「天照らす光に向かう真の道」を36回奏上し玉串奉奠を齋主が行い、「二拝之儀」で祭儀を終了した。5日午後11時過ぎから、拝殿では齋主の安食克彦祭司長が修験を行い、神職のみで「御開扉之儀」を齋礼に入魂を行った。

宗教もしも相談室

03 3466-9900

受付: 月曜・木曜/正午〜午後4時

公益財団法人 新日本宗教団体連合会



